

29P-am148

紅参，遠志，サフラン，羚羊角，沈香からなる生薬製剤の薬理学的研究—強制遊泳試験における不動時間短縮作用—

○清水 康晴¹，茂木 淳一¹，野口 晃代¹，須藤 慶一¹(¹救心製薬総合研)

【目的】滋養強壯を目的とした OTC 薬として上市されている紅参，遠志，サフラン，羚羊角および沈香の 5 生薬からなる生薬製剤（以下 N-095）について，抗うつ薬のスクリーニング試験に用いられるマウスの強制遊泳試験における不動時間に対する作用を検討した。

【方法】雄性 DBA/2 マウスを用い，被験薬を 1 日 1 回，4 日間経口投与し，最終投与 1 時間後に強制遊泳試験を行った。強制遊泳試験は 24～25 °C の水を 10 cm の深さに満たした円筒型のガラス容器（内径 7.5 cm）でマウスを 6 分間遊泳させて行い，後半の 4 分間につき不動時間を測定した。

【結果および考察】N-095 は用量依存的に不動時間を短縮させた。構成生薬単独での作用を検討した結果，紅参，羚羊角，沈香に不動時間短縮作用が認められた。また，N-095，羚羊角，沈香の不動時間短縮作用は serotonin 生合成阻害薬 p-chlorophenylalanine methyl ester 前投与によっても完全には消失しなかった。なお，N-095 の本試験における作用発現用量は，先に検討した強制遊泳試験による抗疲労作用のそれよりも低いものであった。今回の結果は，脳血液循環を高める作用¹⁾ や，種々学習障害モデル動物に対する改善作用²⁾ が認められている N-095 の新たな可能性と，羚羊角および沈香の新たな薬理作用を示すものと考えられる。

引用文献 1) 庄司政満ら：Natural Medicines 58, 64-70 (2004)

2) 庄司政満ら：Natural Medicines 58, 1-9 (2004)